

教職員評価制度に関するアンケート

アンケート記入にあたってのお願い

無記名アンケートですので、氏名の記入の必要はありません。
回答表（別紙）にあてはまる番号や具体的内容を記入してください。
このアンケートは、平成16年度京都府教職員評価制度試行校において、平成17年度の試行を行っている府立学校教職員及び府費負担教職員（評価者を含む）を対象として実施するものです。
このアンケート結果は、「教員の評価に関する調査研究会議」における教職員評価制度についての調査研究のために活用させていただきます。

1 あなたご自身や勤務校、あなたの教職員評価制度試行に対する関わりについてお聞きします。 あてはまる番号を回答表（別紙）に記入してください。

（1）あなたご自身のことについて、記入日現在でお答えください。

- ア 勤務校 1. 小学校 2. 中学校 3. 高等学校 4. 盲・聾・養護学校
- イ 年齢 1. 29歳以下 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50歳以上
- ウ 職名 1. 校長 2. 教頭 3. 事務部長 4. 部主事
5. 教諭 6. 養護教諭 7. 実習助手 8. 学校栄養職員
9. 事務職員 10. 学校図書館司書 11. 技術職員 12. その他(講師等)

（2）あなたの教職員評価制度試行に対する関わりについてお聞きします。

ア あなたは昨年度、教職員評価制度の試行対象職員でしたか。

1. 試行対象職員であった
2. 試行対象職員ではなかったが試行を実施した
3. 試行対象職員ではなかったので試行を実施していない

---> 「1. 試行対象職員であった」とお答えになった方にお聞きします。
それ以外の方は、ウに進んでください。

イ あなたは昨年度、評価補助者でしたか。

1. 評価補助者であった 2. 評価補助者ではなかった

ウ あなたは今年度、評価補助者ですか。

1. 評価補助者である 2. 評価補助者ではない

2 教職員評価制度の試行を行っている感想をお聞きします。

(1) 教職員評価制度を実施する目的として次の項目は重要だと思いますか。

あてはまる番号を回答表(別紙)に記入してください。

ア 教職員の資質能力の向上及び育成が重要である。

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

イ 自己の取組目標の明確化が重要である。

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

ウ 組織的で充実した学校教育活動の実現、学校組織の活性化が重要である。

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

エ 評価者との良好なコミュニケーションの構築が重要である。

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

オ 管理職のリーダーシップの発揮が重要である。

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

2 -

(2) 今年度設定したあなたの自己目標に関連してお聞きします。

ア あなたは、今年度の学校目標（学校経営計画、学年・教科等の校務分掌の目標等）の原案作成に関与しましたか。

積極的に 関わった	概ね積極的に 関わった	あまり積極的に 関わっていない	全く 関わっていない	よく わからない
1	2	3	4	5

イ 教職員評価制度では、学校目標（学校経営計画、学年・教科等の校務分掌の目標等）を踏まえて個人の目標（自己目標）を設定し、自己目標の達成が組織の目標達成につながることを基本としています。

今年度のあなたの自己目標は、学校目標を踏まえた目標ですか。

かなり そうである	まあ そうである	あまり そうではない	全く そうではない	よく わからない
1	2	3	4	5

ウ 教職員評価制度では、努力により実現可能な、やや高めの自己目標を設定し、そのことにより自らのモチベーションを高め、スキルアップを図ることを基本としています。

今年度のあなたの自己目標の高さは適切ですか。

かなり 適切である	まあ 適切である	あまり 適切ではない	全く 適切ではない	よく わからない
1	2	3	4	5

エ 教職員評価制度では、達成度が判断しやすいように、自己目標はできるだけ具体的なものとすることを基本としています。

今年度のあなたの自己目標は達成度が判断しやすいものですか。

かなり 具体的である	まあ 具体的である	あまり 具体的ではない	全く 抽象的である	よく わからない
1	2	3	4	5

2 -

(3) 自己目標の設定や当初面談の効果についてお聞きします。

自己申告書により自己目標を設定することや、その設定した自己目標について話し合う当初面談は、次の点で効果がありますか。

ア 教職員の資質能力の向上及び育成に効果がある。

(例：自己目標を達成するために伸ばすべき能力を自覚できる。他)

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

イ 自己の取組目標の明確化に効果がある。

(例：自己申告書に目標達成のための具体的な手段を明文化することにより、何を重点として取り組むかを明確にすることができる。他)

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

ウ 組織的で充実した学校教育活動の実現、学校組織の活性化に効果がある。

(例：学校目標(学校経営計画、学年・教科等の校務分掌の目標等)を達成するために学校組織の中でどのような役割を果たすべきかを自覚することができる。他)

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

エ 評価者との良好なコミュニケーションの構築に効果がある。

(例：自らの職務内容や考えを評価者に伝え、理解を深めたり、目標や課題等を共有するのに役立つ。他)

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

オ 管理職のリーダーシップの発揮に効果がある。

(例：管理職からの目標設定や目標達成過程における指導助言や支援を得やすくなる。他)

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

2 -

(4) 自己目標の達成状況、職務の遂行状況についてお聞きします。

あなたはあなたの職務を遂行する上で、次の誰からの意見や指導助言等が重要だと思いますか。(複数回答可)

1. 自分自身の振り返りが重要である。
2. 評価者等、管理職からの指導助言が重要である。
3. 同僚教職員からの意見が重要である。
4. 子どもや保護者からの意見が重要である。
5. 地域住民などからの意見が重要である。
6. その他(具体的に記入してください。)

(5) 評価項目についてお聞きします。

教職員評価制度では、

自己目標を達成するために発揮した力を主要な観点とした「能力」、

自己目標の達成状況を評価する「実績」、

自己目標の達成に対する取組姿勢を重要な観点とした「意欲」の

3つの評価項目で評価することとしています。

あなたは3つの評価項目のうち、どの評価項目で最も高い評価を受けたいと思いますか。

1. 「能力」で高い評価を受けたい
2. 「実績」で高い評価を受けたい
3. 「意欲」で高い評価を受けたい
4. どの評価項目でもよい

2 -

(6) 段階評価についてお聞きします。

教職員評価制度では、「A」「B」「C」の加点方式による3段階評価を基本とし、「C」を一般的な評価の段階、一般よりも高い場合を「B」、極めて高い場合を「A」と評価しています。

ア 「A」「B」「C」は妥当な呼称であると思いますか。

かなり	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

→「3. あまりそう思わない、4. 全くそう思わない」に つけた方にお聞きします。

イ 「A」「B」「C」の呼称を何に変更すれば妥当だと思いますか。具体的な呼称の提案があれば記入してください。

3 自己評価、評価者評価、最終面談についてお聞きします。

ここからは、平成16年度京都府教職員評価制度を試行された方（1（2）アで「1．試行対象職員であった」又は「2．試行対象職員ではなかったが試行を実施した」とお答えになった方）にお聞きします。

（1）自己評価、評価者評価、最終面談の効果についてお聞きします。

年間の自己の実績を振り返りながら自己評価を行うことや、評価者の評価を開示して行う最終面談は、次の点で効果がありましたか。

ア 教職員の資質能力の向上及び育成に効果があった。

（例：自己評価や評価者評価の結果から今後伸ばすべき能力を自覚できた。他）

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

イ 自己の取組目標の明確化に効果があった。

（例：自己目標の達成に向けた取組方法がより明確になり、17年度の自己目標が設定しやすかった。他）

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

ウ 組織的で充実した学校教育活動の実現、学校組織の活性化に効果があった。

（例：今後の学校運営に対する意見交換ができた。他）

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

エ 評価者との良好なコミュニケーションの構築に効果があった。

（例：17年度につなげるべき成果や課題等で共通した認識を得られた。他）

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

オ 管理職のリーダーシップの発揮に効果があった。

（例：今後育成すべき能力について管理職から適切な指導助言を得られた。他）

とても	まあ	あまり	全く	よく
そう思う	そう思う	そう思わない	そう思わない	わからない
1 _____	2 _____	3 _____	4 -----	5

(2) 平成16年度の評価結果についてお聞きします。

ア あなたは第二次評価者のあなたに対する評価結果に満足していますか。

とても	まあ	あまり	全く	よく
満足している	満足している	満足していない	満足していない	わからない
1	2	3	4	5

イ 公平、公正な評価者評価が行われるために次の項目のうちどれが重要と思いますか。
(複数回答可)

1. 評価者が教職員の職務内容について理解を深めることが重要
2. 評価者が教職員の職務遂行の状況を十分把握することが重要
3. 評価者の評価の技術や能力を高めることが重要
4. 教職員の自己評価を尊重することが重要
5. 同僚教職員の意見を参考にすることが重要
6. 子どもや保護者からの意見を参考にすることが重要
7. 地域住民などからの意見を参考にすることが重要
8. 評価結果についての疑問や不満を申告できる窓口の設置が重要
9. その他(具体的に記入してください。)

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。